

平成29年度(第29回)ポンペ賞受賞者



長崎大学医学部では、創設者であるポンペ・ファン・メーデルフォールトに記念して新卒業生を対象に、ポンペ賞が設けられています。表彰状とともにブロンズのレリーフをはめ込んだ立派な楯が毎年少なくとも3名の受賞者に卒業式の時に寄贈されます。

今年度受賞されたのは、原正武さん(1位)、友川拓也さん(2位)、大内田良真さん(3位)です。そして、協議会で優秀な成績を挙げたもの、または体育系課外活動推進への貢献度が高く評価されるものとして、村端亮さんが受賞されました。6年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。

成績優秀者(学業成績 上位3位)

体育系課外活動貢献者



原 正武



友川 拓也



大内田 良真



村端 亮



編集長 和田澄華(学友会 広報部)

編集部 長崎大学医学部ぐびろが丘編集部
長崎医学同窓会
〒852-8523 長崎市坂本1丁目12番4号
☎095-848-5484
E-mail: ryojun_do@ml.nagasaki-u.ac.jp

印刷 株式会社インテックス

生協パーティー

桜の開花が早く、晴天が続いた四月の初め、新入生歓迎イベントである「生協パーティー」が開催されました。元気のいい新入生が集まる中、我々が学友会長の柳君の挨拶から始まり、「六年間は長いと思います。が、終わってみれば短いと感じる方が多いのではないか」と感じました。続いて、長崎大学病院放射線科の教授である上谷先生より、御挨拶と乾杯を頂戴し、パーティーは和やかなムードでスタートしました。



学友会長の柳君

新入生達が談笑する中、恒例の部活動・サークル紹介が行われました。今回紹介をした団体は、過去最高の26団体。団体数が増え、紹介時間が短くなった中、新入生に興味を持って頂くべく、趣向を凝らした紹介を行いました。人間ピラミッドをしたり、その場で踊ってみたり、お菓子を配って

みたりと様々。新入生はというと、真剣に聞く方、食事に夢中になっている方、新入生同士で交友を深める方など、こちらも思い思いに時間を過ごされていました。パーティーが終わりを迎える頃には、各団体の代表数名が、新入生を各団体の歓迎会にお連れするべく、パーティーに参加し勧誘を行っていました。今年は例年よりも、新入生の移動が早かったため、入った団体に目星をつけている方が多い印象を持ちました。

最後に、学友会会長から一言頂いたので掲載させて頂きました。「新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんを見てみると、どこか初々しさがあり、懐かしささえ感じられました。生協パーティーを終えてみると、とても素晴らしいものだったのではないかと感じております。ただ1つ心残りは、自分の挨拶の時に台詞が飛んでしまい、用意していた面白い話が言えなかったことです(笑)。次の会長に期待しています。このような会にすることができたのも学務課や食堂の方々、また学友会の皆の支えがあったのだと思います。関わってくださった全ての方々に感謝したいと思います。」



司会の酒巻君と野田君

有志コメント

水泳部 主将 医学科3年 枝廣建

長崎大学医学部水泳部主将の枝廣です！先日行われた九山にて、水泳部は男女ともに2位、総合2位という結果をおさめることができました。個人でも数多くの部員がベストを更新し、中には大会新記録を樹立する選手もあり、日頃の練習の成果が発揮できたとても良い大会でした！



九州・山口医科学生体育大会 長崎大学 団体戦結果

☆団体☆	男子	女子
バレーボール	優勝	予選突破
バスケットボール	4位	予選突破
卓球	3位	2位
バドミントン	予選敗退	3位
剣道	ベスト8	優勝
弓道	準優勝	3位
柔道	予選3位	
準硬式野球	3位	
ラグビー	1回戦敗退	
サッカー	準優勝	
硬式テニス	3位	1回戦敗退
ソフトテニス	準優勝	3位
水泳	準優勝	準優勝
ウインドサーフィン	7位	
陸上	2位	
フットサル	予選敗退	予選敗退

みなさん、こんにちは。今回の学友会便りでは2018年3月から5月にかけて行われた九州・山口医科学生体育大会の結果をお知らせします。部活動が盛んな長崎大学らしく、素晴らしい成績ばかりです。

学友会便り

長崎大学医学部学友会広報部

リサーチセミナー アンジエ大学でのリサーチセミナー

4年 西迫 広貴

アンジエはフランス西部にある人口十五万の小さな町です。世界文化遺産に登録されているロワール渓谷に位置し、古城とワイン畑に囲まれています。なかなか馴染みのない地名ですが、お酒に造詣が深い方は、コアントローというオレンジビールリキュールの蒸留所がある土地としてご存知かもしれません。甘口白ワインや青いチョコレートといった名物もあります。

そんなフランスの片田舎にあるアンジエ大学に、リサーチセミナーで二ヶ月間お世話になりました。配属先は心臓血管系の検査をする施設で、循環器内科のアブラハム教授に指導して頂きました。研究テーマは「動脈跛行における虚血を誘発する運動に対する乳酸の反応に関する後ろ向き研究」。難しそうな響きですが、このテーマに関連する論文を読んでもちんぷんかんぷんでした。しかし、アブラハム先生は身近な例え話を交えながら丁寧に教えてくれ、検査を見学するうちに重要なポイントをつかめるようになり、三千人の患者さんのデータから研究テーマに適合するデータを選別して、相関関係を見つけたという言われました。ところが、医学統計の知識をさっさと習得し忘れたため、統計を一切から勉強しながら作業を進めました。この頃から、作業場所が教授室へ移動になり、先生と一緒にいる時間が多くなり、他のテーマに関する検査結果のことも興味深い症例があったら、ミニレクチャーをしてくれて非常に勉強になりました。統計エンジニアのチェックを終え、結果が出た後にワードとパワーポイントにまとめ、プレゼンの準備をしました。

考察には頭を悩ませたのですが、先生方のご指導に助けられ、無事プレゼンを終えることができました。アンジエでの生活はというと、澄んだ空気の中でゆったりとした田舎町の時間を楽しんだというところ。私のいた寮は町の外れの方にあり、町まで自転車でも十分は院まで自転車で十分ほどでした。通学路沿いにはメーヌ川という船の行き交うような大きな川が流れており、さらさらと朝日に照らされた川の向こう側にはアンジエ城が見えます。この景色を見るのが好きで、朝の通学時間は毎日の楽しみの一つでした。平日は夕方、町のカフェでコーヒーを飲んで一息ついた後、デザートや雑貨屋さんにぶらぶらして、夜は寮の共同キッチンで自炊です。寮にはフランスの他に、様々な国から留学生が来ており、フランス、イタリア、ドイツ、インド、インドネシアなど色々な国の料理をつまみ食いできます。そのキッチンで毎週パーティーが開かれました。その中でもフランスのラクレットパーティーが特に印象に残りました。専用のオーブンでとろとろに溶かしたラクレットというチーズを、ほくほくのジャガイモやカリッと焼いたハムにかけて食べます。寒い冬にみんなでオーブンを囲んでふあふあしながら食べるラクレットは、日本の鍋の感覚に似ていると感じました。週末は

主に、再会したフランス人の友人や彼らを通してできた友人と過ごしていました。美術館やマルシェ（フランス各地の食材が手に入る市場）に行ったり、友人宅でランチやディナーを一緒に楽しむようになったり、ロトに参加したり。ロトとは、日本でいうビンゴゲームのようなもので、任天堂のWiiやテレビ、パソコンなどの豪華賞品を巡って、老若男女関係なく熾烈な戦いが繰り広げられます。後半になってくると数字が読み上げられるたびに、歓喜の叫びや悪念ながら賞品はゲットできませんでしたが、つかの間の夢に興じることができました。とある日曜日の友人宅でのランチの話をしましょう。メイン料理が来る前に、シャンパンやワイン、ビールを飲みながらスナックやソシソン（ドラインソーゼー）などの軽食を食べながら様々な話を聞いていました。内容は天気、政治、友人の幼少期など多岐にわたります。最も印象に残ったのは、見るからに厳格そうな友人の父の話です。フランス語とラテン語の関係を話していたかと思えば、ふと思いついたように、来週ロシアからの寒波が来て、多岐にわたる話をしていました。数十年前にも強い寒波が来て、あまりの寒さにみんな家で過ごす時間が多くなり、早い時間に床にいたそうです。その翌年、フランスで多くの子供が生まれたんだと得意満面に語っておられました。これがフ

ランスのベビーブームなんだそうです。もしかしたら今年の年末年始あたりは、フランスでまたベビーブームが起るかもかもしれません。リサーチセミナーを終えたあとは、両方の友人が長崎からロシアの寒波と共にやってきて、一緒にフランス、イタリア、スペインと旅行してから帰国しました。訪れたところは雨に見舞われましたが、色々な文化に触れることができ、非常にいい経験となりました。今回アンジエ大学でリサーチセミナーを履修するにあたって、泌尿器科教授酒井英樹先生、言語教育研究センター教授大橋絵理先生をはじめ、多くの方々にお世話になりました。この場を借りて感謝申し上げます。



再会した友人たち

リサーチセミナー ヴュルツブルグ大学でのリサーチを終えて

4年 白井 貴浩

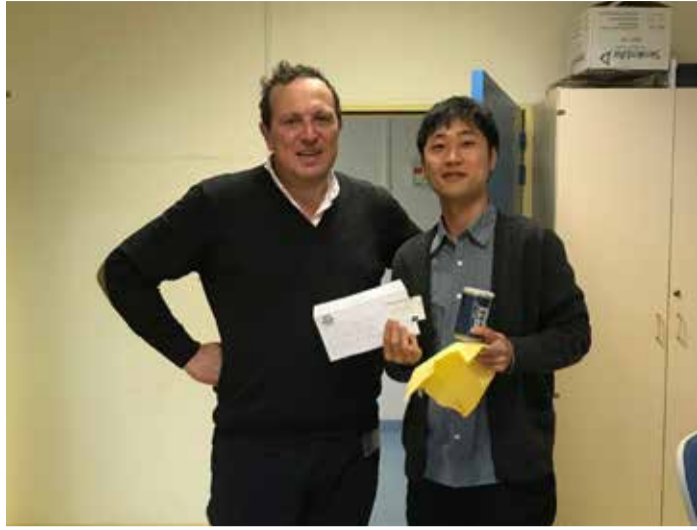
1月4日から2月28日の期間、ドイツ南部、バイエルン地方に位置するヴュルツブルグ大学の核医学教室にリサーチ留学する機会を頂きました。ヴュルツブルグ大学は1402年に創立された非常に歴史ある大学で、レントゲン博士に加え、長崎ともゆかりのあるシーボルトの学んだ大学でもあります。X線の功

績により核医学が非常に進歩しており、診断のみならず治療においても積極的に放射性核種を用いた治療が進められています。治療応用がドイツでしか認められていない放射性核種も存在し、慎重なリスク管理が求められる一方、世界の核医学をリードする施設でもあります。リサーチセミナー期間中は、整形外科での腫瘍

外科手術見学（1か月）、核医学センターでのリサーチ（1か月）の構成となっており、整形外科や核医学センターでドイツの日常的な臨床現場をよく見ることができたことは大きな収穫となりました。整形外科のRudiger教授に初めて挨拶に伺った日のことです。「君は手術室に入ったことがあるかい？」と教授に尋ねられ、「いえ、一度もありません」と答えると教授は「じゃあ明日の私のオペの第3助手に入ってくれませんか？」と尋ねられました。動揺しながら「私はオペをまだ日本で見学したこともないし、本当によろしいんですか」というと微笑みながら教授は「日本でもやったことないからドイツでやるんだ。君は海を越えて多分大金と時間を投資してここにきています。この医者には忙しく、冷たく見える人もいるかもしれないが君が一生懸命やる姿勢を見れば皆答えてくれるいいチームだ。この施設をよく見て帰って

ほしい。明日は朝7時にこの日か？」と教授に尋ねられ、「いえ、一度もありません」と答えると教授は「じゃあ明日の私のオペの第3助手に入ってくれませんか？」と尋ねられました。動揺しながら「私はオペをまだ日本で見学したこともないし、本当によろしいんですか」というと微笑みながら教授は「日本でもやったことないからドイツでやるんだ。君は海を越えて多分大金と時間を投資してここにきています。この医者には忙しく、冷たく見える人もいるかもしれないが君が一生懸命やる姿勢を見れば皆答えてくれるいいチームだ。この施設をよく見て帰って

らしい先生方が忙しい中、日本から来た私を温かく迎えて下さりました。将来、外科もありませんか？という質問に「そうですね、私も一度ヴュルツブルグ大学に再入校して勉強したいです」と返すと、教授は「いいですね、勉強してください」と返されました。この機会を頂戴して下さったことに感謝し、今後も精進していきたいと思っております。



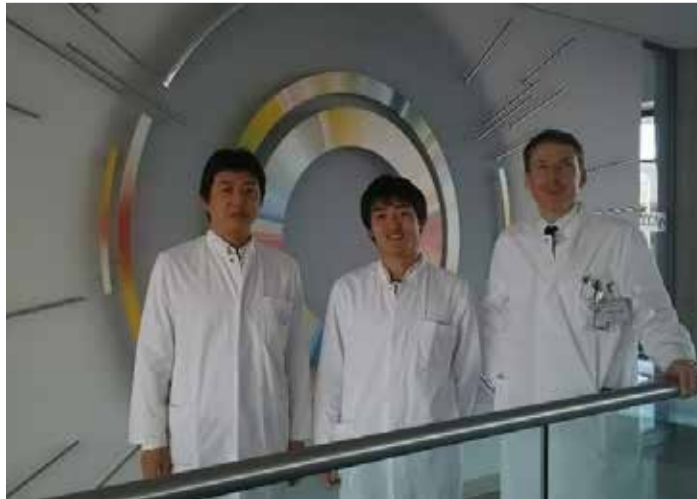
アブラハム先生からの誕生日プレゼント

ケルンにて



ケルンにて

核医学センターの先生方と



核医学センターの先生方と
(左から神戸大学福島先生、私、Buck教授)

リサーチセミナー ベラルーシでのリサーチ活動

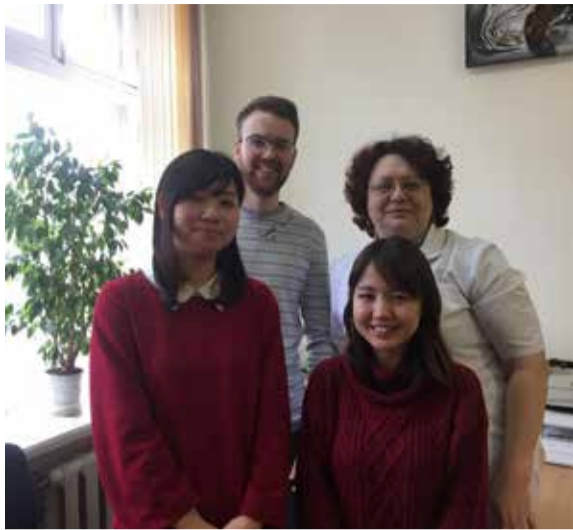
4年 大熊 怜

こんにちは。医学科4年の大熊怜です。私は海外リサーチセミナーとして、ベラルーシで一か月間リサーチ活動を行いました。突然ですが、みなさんはベラルーシという国をご存知でしょうか。どこにあるのかわからないと思う方がほとんどかもしれませんが、私の友人には、アメリカの州のひとつだと思込んでいた人もいました(笑)。ベラルーシはロシアの南、ウクライナの西に位置する、旧ソ連の農業が盛んな社会主義国です。ベラルーシのゴメリ地区は1981年に起きたチェルノブイリ原発事故の影響を特に強く受けた地域であり、私は「ゴメリの医学生生放射線に対するリスク認知」に関する研究を行いました。ベラルーシの冬の平均気温はマイナス20度、九州で生まれ育った私としては想像もつかない寒さ。果たして私は一か月無事に生活することができたのか、そんな不安を持ったままベラルーシへ。現地の学生が今年暖冬で暖かいと言っていました

が、日本の冬とは違い体の芯から冷たくなってしまったような寒さで私は毎日凍えて過ごしました。ベラルーシではリサーチ活動の他に、病院・研究室見学、観光までいろいろな活動をさせていただきました。私にとって印象的だったのはベラルーシが特に産婦人科に力をいれていることでした。女性は出産予定日までに3回超音波検査を受ける機会がありますが、妊婦さんに来てもらうために、来院した女性に礼金を配るそうです。それほど妊婦さんとその赤ん坊への健康に力を入れているため、発展途上国の中でも新生児の生存率の高さがとびぬけているので、WHOから視察までくるそうです。大学内の新生児の解剖博物館を見学させてもらい、多くのことを学びました。ゴメリにおいてもミンスタクにおいても、現地の大学生が毎日どこかへ連れていってくれました。博物館、国で一番大きな公園であるピクトリアパーク、サーカスなど様々なところに行き、いろいろな話を学生としました。ベラルーシの医学史を学ぶ講義を必ず受講せねばならず、ベラルーシに関する多くのことを私に教えてくれました。それに比べてあまり日本に関する話をしなかったのですが、変な話ですがベラルーシで日本のことについて学ぶこともありました。毎日毎日本筋に充実して、あつという間に感じられた一か月でした。最後に



病院実習の様子



タチアナ先生と学生と

今年度、リサーチセミナーの2か月間、韓国のハリム大学でお世話になりました。お世話になった研究室では、先生や大学院生の方合わせて20人ほどで、みなさんともフレンドリーに接してくれました。研究自体



研究室でお世話になった先生方

私は初心者で、不安はたくさんありましたが、事前準備はしていたものの、わからないことが多かったのですが、担当のキム先生をはじめ、周りの先生方にサポートしていただき、研究を完成させることができました。

リサーチセミナー 韓国・ハリム大学での2か月間

4年 木村 知代

今回韓国で研究をさせていただく中で、研究において深く考えることができたのはもちろんのこと、もう一つ、感銘を受けたことがあります。それは、医療において、アジアの国同士で連携することの大切さです。お世話になった研究室のキム教授は長崎大学の先生たちと親しく、日本と韓国との関係についてたくさんお話してくださいました。キム教授は自国と同じく日本のことをよく知っていました。物理的に近い距離にいても、文化的に近距離にないから起きた争いもありますが、物理的に近い距離にいても、文化的に近距離にないから起こる協力がありません。アジアの国同士の協力は、今や欠

かせないものだと思います。言語も文化も違う国での研究室生活は、もちろん大変なことはたくさんありました。しかし、帰国し発表を終えた今振り返ってみて、あの時自ら自分を厳しい環境に置いたこと、研究を完成させたこと、全て貴重で、自分を成長させてくれました。関わってくださった方々、本当にありがとうございました。



美味しい韓国料理にもたくさん連れて行ってくださいました



今度、リサーチセミナーの2か月間、韓国のハリム大学でお世話になりました。お世話になった研究室では、先生や大学院生の方合わせて20人ほどで、みなさんともフレンドリーに接してくれました。研究自体

私は初心者で、不安はたくさんありましたが、事前準備はしていたものの、わからないことが多かったのですが、担当のキム先生をはじめ、周りの先生方にサポートしていただき、研究を完成させることができました。

週末は、ラボに行く必要はなかったため、イタリア北部の都市を中心に旅行しました。交通手段は主に電車で、日本では考えられないほどリーズナブルでした。旅行先は、有名観光地が多く、私の目には輝かしく映りました。しかし、大都市であればあるほど、光と影の部分はくっきりして



現地の学生とディナー



ベラルーシのオペラハウス

リサーチセミナー イタリアでの留学生活

4年 笹野奈穂

こんにちは。医学科4年の笹野奈穂です。3年後期のリサーチセミナーの期間中、イタリア北部にあるトレント大学心理学部の Affective Behavior and Physiology Lab (ABP Lab) にて2か月留学する機会をいただきました。私が滞在したロヴェレトの町は人口約3000の小さな町です。人々は暖かく、片言のイタリア語でも生活していくことができました。治安も、それほど大きな町ではなかったため、よかったです。ABP Labでの研究内容は、「ヒトとマウスの母子関係の比較」についてでした。同級生の南さんとともに、主にビデオコーディングを担当していました。解析はまだできていませんが、ビデオコーディングの客観性について考えることができました。ABP Labには、有名観光地が多く、私の目には輝かしく映りました。しかし、大都市であればあるほど、光と影の部分はくっきりして

は興味深い話をたくさん聞けて、ラボでの生活はとても充実していました。普段の生活は、地元学生が多く住んでいた寮での生活でした。ここでもたくさんユニークな仲間に出会うことができました。二人部屋だったので、ルームメイトとはかなり仲良くなれて、二人で「ロミオとジュリエット」の舞台になったヴェローナに日帰り旅行にも行きました。食事は、朝夕は自炊、昼はカフェテリアで食べるのが多かったです。週末は、ラボに行く必要はなかったため、イタリア北部の都市を中心に旅行しました。交通手段は主に電車で、日本では考えられないほどリーズナブルでした。旅行先は、有名観光地が多く、私の目には輝かしく映りました。しかし、大都市であればあるほど、光と影の部分はくっきりして





ようこそっ！長崎大学へ！

春は新入部員の激しい争奪戦！今年も各部でいろんな新歓イベントがあったようですね！
ここで新聞部独自で新入部員の行方を追ってみましたよw

最も新入部員を獲得した部活 BEST3 は・・・(5/3 時点)

1位 硬式テニス部 **2位 水泳部・バドミントン部** ...でした！

新しい仲間、頼もしい先輩方と一緒に
充実した部活ライフを満喫しましょう!!!

(もちろん、試験はしっかり受けましょう!)

2017年度卒業式

3月23日に卒業式がありました！この日は、桜が花開きお天気に恵まれた1日でした。華やかな袴や振袖、スーツ姿の卒業生が記念講堂に集まり、長崎大学医学部を旅立たれました。在校生は、式終わりにそれぞれの部活で集合し、6年生の先輩方との最後の時間を過ごしました。長崎に残って研修をされる方、県外に行かれる方と様々ですが、沢山お世話になった先輩方が旅立たれるのは毎年本当に寂しいものです。

私たち新聞部からは、野本和宏さんが卒業されました。6年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます！新天地でも頑張ってください！！



新入生のみなさん、大学生活には慣れましたか？長崎大学生協医学部店店長の村上と申します。

新入生の皆さんには、すでに食堂をご利用いただいたり、店舗でお弁当や飲み物、クレープやパイシュー、白衣やスケッチブック、教科書など授業に必要な用品などで生協をご利用いただいていると思います。このページでは、今よりもっと生協をお得にご利用いただけるような情報をお伝えしたいと思います。主に店舗の事柄が多くなりますが、ご了承ください。

★【自動車学校早期入校キャンペーン】(新入生限定)

生協に加入されていて、7月31日までに自動車学校の入校手続きとQRコードでの登録を済ませただいた方には、『お得な生協料金』&『5,000円分生協利用券』のWサービスがあります♪ 生協料金は、通常の入校価格より約15,000円お安くなりますので、かなりお得です。
※割引価格は自動車学校によって異なります。

また、生協利用券は、学生証(プリペイド機能)に5,000円分チャージさせていただきますので、食堂や店舗どちらでもお使いいただけます。
※生協利用券プレゼントについては、合宿タイプでのお申込は対象外となります。



こちらが早期入校キャンペーンポスターです。医学部店にて是非お申し込みくださいね！

このような掲示を医学部店舗店頭にて毎月掲示していますので、見てください

★書籍『共同購入』でさらにお得にお買い求めできます

生協に加入されていて、同じ書籍を【5冊以上】ご購入される際は『共同購入』というサービスがあります。この場合、通常10%割引なのが、なんと【12%割引】にてご購入いただけます！同じ書籍を購入される友だちとグループを作ってご利用ください。ご利用の際は、申込書がありますので、そちらをご利用ください。※教科書については、対象外となります。

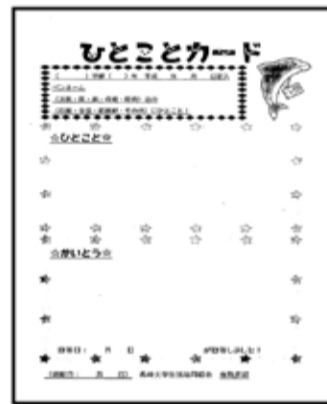
こちらが共同購入申込書となります



★『ひとことカード』でみなさんからの

意見や声をください！

『ひとことカード』という生協への要望や声を集める用紙があります。いただいたものには必ず回答を記入した上で食堂前のホワイトボードに掲示していますので、一度ご覧ください！みなさんの先輩方からは、「〇〇を置いてほしい!」「TVで▲▲ってお菓子を見たけど、入りますか?」「食堂メニューの■、復活希望!」など様々な要望から、「愛って何ですか?」「無事2年生になったので、お祝いの言葉をください」といった『ひとこと』をいただいています。新入生の皆さんも、何かご要望などありましたら『ひとことカード』書いてみてくださいね!



このようなひとことカードを設置しています

★【プリペイド8%チャージ企画】やっています!



学生証に現金をチャージできるプリペイド機能、お使いいただいていますか?学生証自体には最大3万円までチャージが可能です。現在、長崎大学生協では月に2回【プリペイド8%チャージ企画】を行っております。これは3000円以上チャージをされた生協組合員の方対象でチャージ金額の8%分を追加チャージさせていただく企画です。お得に8%分多くチャージされますので、その分お得にお買い物いただけます!店舗・食堂どちらでもチャージできますのでご利用ください。

さまざまな面から、生協医学部店&食堂では6年間に及び医学部の学生生活をサポートしていきますので、上手に生協を活用して、実のある大学生活を過ごしてくださいね！今後とも長大生協をよろしくお祈りします！

★学友会広報部新入部員募集中!★

こんにちは!学友会広報部です!私たちは長大生の皆さんに年に3回、新聞をお届けしています。新入生歓迎会に始まり、西医体、九山、海外ワイクラ、海外リサーチ、その他長大生の活躍や生協からの連絡までみんなが気になるあの情報を皆さんにお届けしています!もちろん、あなたが書いてみたい記事を載せるのも自由です!

ほとんどの部員が部活や学友会を掛け持ちし、担当記事を毎回楽しく作っています!大学生活の1ページに広報部を考えてみませんか??ご興味がある方は広報部部員までお声がけください!ご連絡お待ちしております(*^^*)



編集後記

新しく新聞部に入りました清原です!梅雨入りしたばかりでまだまだ夏ではないのですがすでに肌の色はトロピカルです。今年の夏は西医全医はもちろん、新聞部としても元気にがんばって頑張ります!よろしくお祈りします。(2年 清原翔徳)

今年度よりぐびろが丘新聞部に入部しました金好です。運動部には所属していませんが、今九山の記事を作成するにあたり、皆さんの活躍を拝見できたことで、大変元気をもらいました。引き続き、新聞作成を通して皆さんの関わりをもてたいと思っております。よろしくお祈り致します。(3年 金好 智子)

新しく新聞部に入部しました、山内です。フットサルの九山を終え、また他の部活の成績を記事にしながら夏のオールメデイカルに向けてモチベーションをあげていました!最近テストにおびえる日々ですが、夏に向けて突っ走っていきます!記事の方も頑張っていくので、楽しく読んでもらえるとうれしいです。(3年 山内 翠)

今年度は年始からリサーチでドイツに行ってきたので今回は海外リサーチ記事を担当しました。白井です。GWは家族で生牡蠣を食べた後、食中毒になりました。GWこそ勿体なかったですが、その他は海外リサーチやメキシコに行くなど充実した生活を送っています!新入生が入り、新体制で記事作成頑張っていきます。今年度もよろしくお祈りします!(4年 白井 貴浩)

年始からバラルーシにリサーチに行くと、本当の冬を経験してきた大熊です。ゼミ体験記事を読んだ後、ゴールデンウィークは九山の主管ということもあり、ゼミも一週間休んで、西医体の結果も楽しみにしていかなくてはなりません。新聞部に入部も入り、新しい風が吹いてこれからはがとも楽しみたいです!今年度も皆さんの素敵な記事を書いていきたいと思うので、よろしくお祈りします!(4年 大熊 悦)

長期記憶が致命的に欠損している熊谷です。今回は各部活の新歓の様子の記事を担当させていただきました!全部活の写真は載せられなかったですが、それぞれ楽しそうなお知らせがあったみたいです!体育大学の長とまで言われるほど、長大医学部は部・サークルに活気のある大学です!新メンバーを加えてみんなで盛り上げていきましょう!(5年 熊谷 知香)

GWに戻りたい松島です。今回は学友会便りを担当しました。そのために生協パーティーに参加しましたが、新入生の目がキラキラしていて初心を忘れてはいけないと感じています。今号から新たな部員と一緒で作成です!読者の皆さん、これからも愛顧よろしくお祈りします!(5年 松島 俊樹)

お久しぶりです!最高学年になったのが不思議な気持ちのままです。荻野です。今年のGWは、前半はゆっくり省エネで、後半は軽音楽部で九山に行きました!残り少ない時間を大切にしていきたいです。今年1年もよろしくお祈りします!(6年 荻野 恵梨)

こんにちは!5月は海外ワイクラで韓国にきています。最初はやって行けるのかとも心配でしたが、友達も帰るのがすこし名残惜しいです。次号で体験記掲載予定です!お楽しみに!(6年 山本 侑季)

和田です。高次臨床実習頑張っております。今月是小児科でお世話になりました。病棟の子供達の姿を見て、たくさん勇気もらいました。まだまだ頑張らないうち、色々と早いもので、実習は残すところあと一ヶ月になりました。最後までめいっばい、色々なことを吸収していきたいです!(6年 和田 澄華)